

2006 年度事業
活動の様子
写真

スリランカ「津波の女性被害者の自立と開発プログラム」(2年度)



「あなたのビジネスを改善しよう」というトレーニングでグループワークに取り組む女性たち



家庭菜園活動での当面の問題は、津波の直後から激増したカタツムリによる被害である



ビジネス運営技術集中トレーニング。ILO の教材を活用し、1週間ごとのビジネスサイクルを学ぶ



ゴダガマ北地区のグルプカンダ村では、身体障がい者の女性メンバーにミシンを提供した



ゴダガマ地区のコミュニティの状況を把握するための「ソーシャル・マッピング」のようす



完成したコミュニティ・センターに集まった、初年度から参加している女性メンバーたち



受益者の多くが行っているコヤ・ロープづくり。3人一組になり、ヤシの繊維を紐状にする



受益者が営む日用雑貨店内



家の周りに自生している葦（あし）の葉を乾燥・着色し、編んだカバンを見せる女性リーダー



シナモンの薪を売る仕事を始めたアヌーラ・アベコさん。1束20ルピー（約21円）で販売



小麦粉を練った生地を葉の上に渦巻状に搾り出し、揚げるお菓子「バイツ」をつくる女性。20枚1パックで70ルピー（約84円）で販売している



伝統菓子「ドドール」づくり。米、ココナツ・シユース、砂糖、蜜、ナツツを煮詰める



ゴダガマ南地区周辺では、マッシュルーム栽培（上）を始めた家が2世帯ある。21日間暗室で菌を育てた後、2日間で完成。200グラム35ルピー（約37円）で販売している



どの家庭の食卓にもほる「istring・ホッパー」をつくり、1枚4ルピー（約4円）で売る



自宅で寝具や洋服の縫製ビジネスをするシュールアンさん。枕カバーは10分ほどで完成し、1枚70ルピー（約70円）で売れるそうだ



子どもの文化プログラムでは寺院を訪問し、仏教文化と仏教文化が紛争解決教育に与えた影響、歴史について学んだ



開発（発展）のメッセージをコミュニティに伝えるための伝統舞踊のようす。すべての文化プログラムは女性によって行われた